

責任ある投融資への取り組み

融資 ～エクエーター原則への取り組み～

金融の円滑化を図り、内外経済・社会の健全な発展に貢献するため、〈みずほ〉は社会的責任と公共的使命の重みを常に認識し、適切なリスク管理態勢のもと、高度なリスクテイク能力を活用した金融仲介機能の発揮に努めています。

みずほ銀行は、自然環境や地域社会に影響を与える可能性のある大規模な開発プロジェクト案件に対して、エクエーター原則[※]を適用し、プロジェクト事業者（お客さま）と協働して環境・社会リスクと影響を特定・評価し、管理しています。これは、同原則を通じた適切な環境・社会への配慮は、お客さまと当行だけでなく、地元のステークホル

ダーにも大きな恩恵をもたらすと考えているからです。このような取り組みを通じ、〈みずほ〉は積極的に環境・社会問題に取り組み、ファイナンスを通じて経済発展と環境保全の両立を目指すことで、金融機関としての社会的責任を果たしていきます。

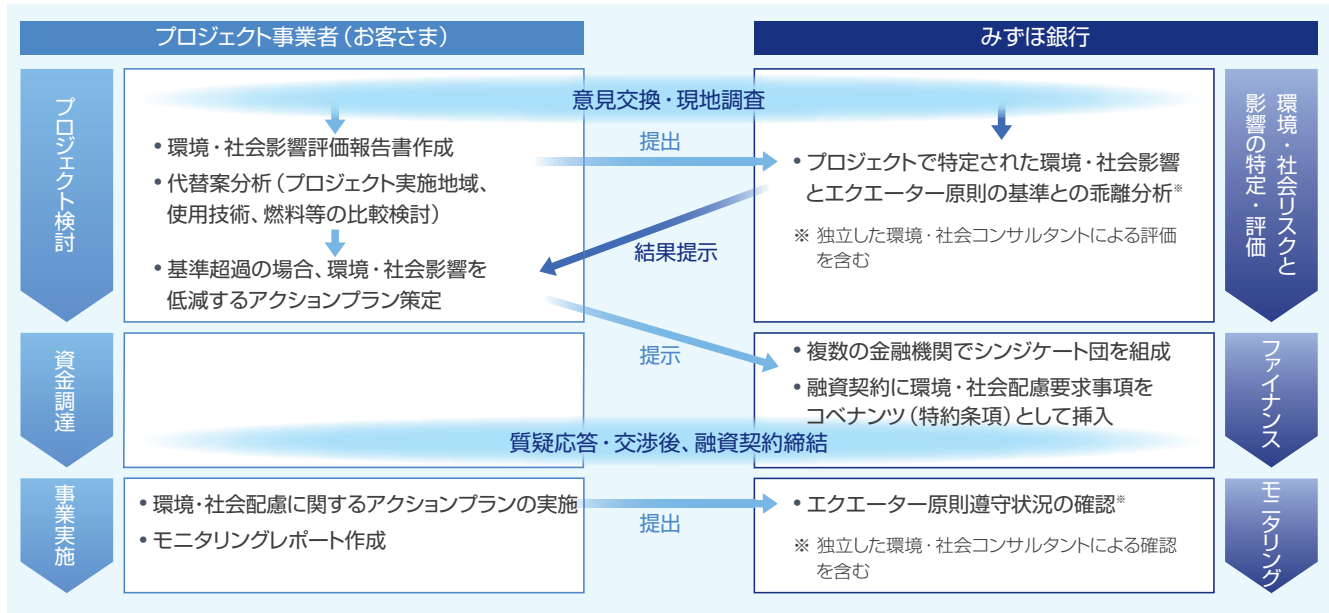
※民間金融機関が大規模な開発や建設のプロジェクト案件に参加する場合に、プロジェクトが自然環境や地域社会に与える影響に十分配慮して実施されることを確認するための枠組み

詳細はウェブサイトをご参照ください。

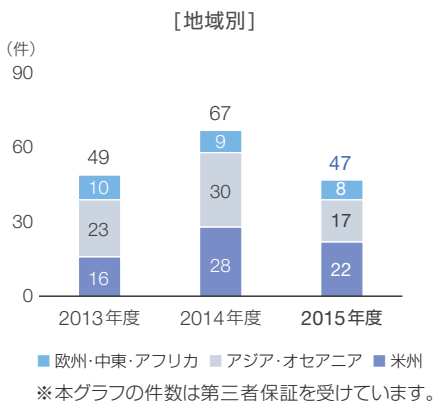
<http://www.mizuho-fg.co.jp/csr/environment/equator/index.html>



エクエーター原則に基づく環境・社会リスク管理プロセスの概要



エクエーター原則適用案件調印件数[※]



TOPIC

環境・社会リスク管理に関する知見の普及活動

2016年3月、みずほ銀行は、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行との共著で、国内初となるエクエーター原則の実務解説書を出版しました。これにより、国内産業界、金融業界へのエクエーター原則をはじめとする環境・社会リスク管理に関する知見の普及促進につながると考えています。



投資 ～機関投資家としてスチュワードシップ責任を果たすための取り組み～

〈みずほ〉は、投資先企業との建設的な「目的をもった対話」(エンゲージメント)等を通じて、投資先企業の企業価値向上や持続的成長を促すことが、お客さまの中長期的な投資リターン拡大を図ることになり、さらには持続的な経済成長に資する資金循環につながると考えています。

みずほ信託銀行とみずほ投信投資顧問、新光投信、DIAMアセットマネジメントは、責任ある機関投資家として

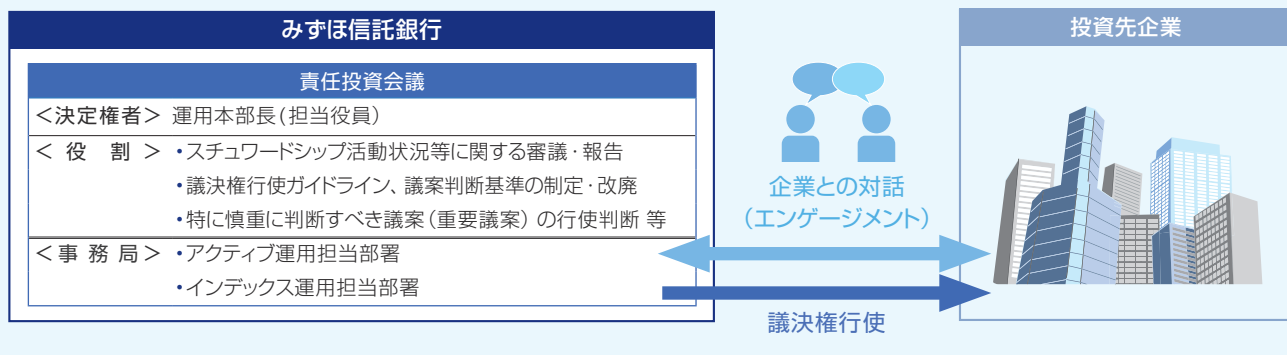
適切にスチュワードシップ責任を果たすため、「責任ある機関投資家」の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》を受け入れ、原則に則した取り組みを推進しています。2016年10月の統合が内定している運用会社「アセットマネジメントOne」においても、スチュワードシップ責任を果たしてまいります。

具体的な取組事例

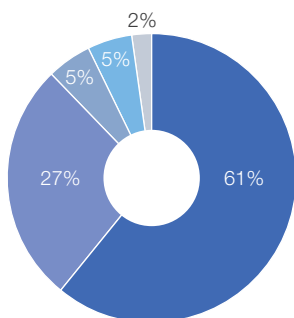
みずほ信託銀行では、中長期的視点から投資先企業の企業価値および資本効率を高め、持続的成長を促すことを目的に、投資先企業とは財務情報のほか、環境・社会・ガバナンス等の非財務情報を踏まえた対話(エンゲージメント)を積極的に行ってきました。2014年7月には、スチュワードシップ責任を果たすための体制を強化するため、責任投資会議を新設し、アクティブ運用・インデックス運用を担当する部署が事務局を担っています。

責任投資会議では、スチュワードシップ責任の履行状況の評価・見直しや投資先企業との対話、株主議決権行使等スチュワードシップ活動全般に関する事項について審議・報告し、常に取り組みの改善・向上を図っています。また、アナリストが行う投資先企業との対話については、事務局で記録・整理のうえ、責任投資会議にて組織的に共有しています。

スチュワードシップ体制図



エンゲージメントの主な内容 (2015年度)



- **企業戦略** 中長期的な企業価値向上に資する経営戦略・事業計画等
- **業績** 業績変化とその要因等
- **資本構造** 資本効率の向上と持続的成長に資する財務戦略、資本政策等
- **ガバナンス** 経営体制等、コーポレート・ガバナンス
- **リスク他** リスク：経営に与える影響の大きいリスク事象等への対応
その他：経営への影響の大きいその他事象等(反社会的行為等)への対応